

# ひよこ通信

ひよこの会会報 令和5年3月号

発行 八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)  
〒276-0044 千葉県八千代市萱田町542-81  
電話 & Fax 047-450-9144  
発行人 会長 吉野真里子、編集 会報編集委員会

## ◇春、年度末が近づきました

一般に春の風といえばのどかな風ですが、この季節は天候が変わりやすく急に激しく吹き起こる強風のことを“春疾風”と呼ばれています。この風で「新型コロナウイルス」も吹っ飛んでけえ～。

政府の新型コロナ対策に係る政策が変わりつつあります。これで新型コロナ収束へのレールが敷かれたことになるのでしょうか。「にじと風」では、定期的に職員のPCR検査をしています。

3/13(月)に検体採取した結果は全員陰性でした。

3月は年度末として一つの区切りでもあります。卒業から次のステップへ、そして希望に夢膨らませて。私たちも今年度の活動を振り返って、来年度の計画を立案し、総会に向けた準備を行います。

八千代心身障害児者父母の会(ひよこの会)は、NPO法人にじと風福祉会の活動を全面的に応援しています



## ◇にじと風保護者会も新年度役員が決まり、4月から新たなスタートです

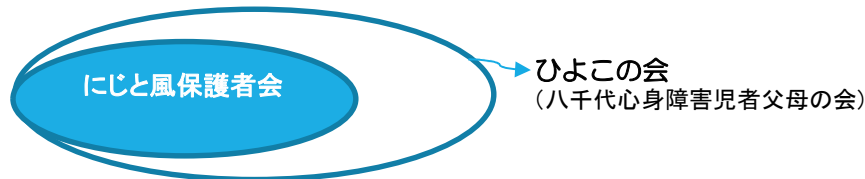
3/11(土)の保護者会で、次の通り新しい役員が決まりました。よろしくお願い致します。

会長：塩入麻美 事業担当(きょうされん)：清水和美  
書記：伊藤麻紀 事業担当(視察研修)：白柳 都  
会計：笠川智子 事業担当(ライフサポートファイル)：白柳 都

コロナ禍で、今までご苦労された役員の方皆さんお疲れ様でした。新役員への応援もお願いします。

“にじと風保護者会”は、「にじと風」を利用している人の保護者の集まりで、ルールがどうか堅苦しいことのない、フランクに集うところです。

- \* 利用者・保護者の声を反映させ、より良い施設運営に繋げることを目的としています。
- \* 活動は、「にじと風福祉会」の支援、会員相互の情報交換・親睦のほか、「ひよこの会」の会員として、ひよこの会の事業活動に参加します。
- \* 保護者会としての会費はなく、活動経費はひよこの会から貰えます。
- \* 保護者会のメンバー以外でも、ひよこの会の会員になっている人もいます。



## ◇新年度、最初の保護者会が開催されます。4/15(土)、10:00～、会場は施設「にじと風」2階です。

久しぶりに対面で、初めての顔、声、…、楽しみです。是非とも都合をつけて参加しましょう。

## ◇3月度収益事業の報告

no.	日時	収益事業	収入(円)	備考(担当など)
1	1/13(金)～2/28(火)	きょうされん物品販売(バレンタインチョコ)*	24,769	有本美希/荒木賢太/吉野純子/他にじと風職員
2	2/11(土)、9:00-10:00	資源回収	2,605	大野晃/津田夏絵
3	3/5(日)	市役所フリマ	0	(新型コロナウイルスの影響を考慮し中止)
4	3/11(土)、9:00-10:00	資源回収	1,595	大野晃

\* 仕入代等の原価分を除いた粗利を示す

◇にじと風、施設の行事から

このところ、にじと風の“土曜休日活動”は、外出を避けて施設内での形がほとんどになっています。今回は、下見の結果で混雑を避けられそうとの見通しから、お隣の“千葉市動物公園”まで遠征しました。

2/23(木祭)の、千葉市動物公園  
あれっ～ 貸し切り？



公園の了解をいただいて芝生でのお弁当



この「どうぶつ」は、なーに？



つかれた～、でもまた来たい！

◇これからの予定

- ・3/24(金)～4/6(木) にじと風、春の特別活動
- ・4/2(日) 八千代 友・遊・福祉バザール(八千代市役所) /⇒お休み
- ・4/8(土)、9:00-10:00 資源回収
- ・4/15(土)、10:00-12:00 にじと風保護者会(対面にて)

◇編集後記

マスコミの世界では「新型コロナ」に関する報道がめっきり減ってきて、一般の人の関心もどんどん薄れてきているように感じます。その中で「マスク」に関しては賑わいをみせています。

政府は、3/13(月)から“マスクの着用は個人の判断”としていますが、私たちが判断する前提の一つとなる「感染状況の最新情報」はどこに行ったら入手できるのでしょうか。

そもそも、新型コロナ蔓延以前には、風邪やインフルエンザに罹ったとき他の人にうつさないようにとマスクを着用していたのではないかと。ただ新型コロナは感染しても無症状の時期があってそのときでも人にうつす、しかも感染力が桁違いという特性から、自衛のためも含めてマスクの着用が必然だった、その“マスク着用の目的”をどこかにおいて着脱のことがひとりで歩きをしているようにみえます。

マスク騒ぎだけでなく、私たちの行為、活動に際しては、常にその目的を意識することを心掛けたいものです。  
(吉野康生記)